

Course number		U-LAS14 20005 LJ68							
Course title (and course title in English)		動物自然史 I Natural History of Animals I			Instructor's name, job title, and department of affiliation		Graduate School of Global Environmental Studies Professor,NISHIKAWA KANTO		
Group		Natural Sciences		Field(Classification)		Biology(Issues)			
Language of instruction		Japanese		Old group		Group B		Number of credits 2	
Number of weekly time blocks		1	Class style		Lecture (Face-to-face course)		Year/semesters		2024・First semester
Days and periods		Mon.2		Target year		Mainly 1st & 2nd year students		Eligible students For all majors	
[Overview and purpose of the course]									
脊椎動物を題材として自然界に存在する動物の多様性の実態を紹介し、その意義を理解させることを目的とする。									
[Course objectives]									
脊椎動物の多様性の実態、進化史について理解して、その意義を理解する。									
[Course schedule and contents)]									
以下の項目について授業をする予定である。 第1回：イントロダクション 第2回：生命の起源と進化 第3回：系統分類学の基礎 第4回：無顎類 第5回：軟骨魚類 第6回：硬骨魚類 1（条鰭類 1） 第7回：硬骨魚類 2（条鰭類 2） 第8回：硬骨魚類 3（肉鰭類） 第9回：両生類 1（系統と進化） 第10回：両生類 2（多様性と自然史） 第11回：爬虫類 1（系統と進化） 第12回：爬虫類 2（多様性と自然史） 第13回：鳥類 第14回：哺乳類 第15回：フィードバック									
[Course requirements]									
高校で生物を履修しなかった者、文科系学生にも理解できる内容なので、履修要件はとくにない。ただし、講義に関連したテーマを扱う生物学実習IIや、無脊椎動物についての講義である動物自然史II（翌年開講）の履修も、理解を深める上で役に立つので推奨する。									
----- Continue to 動物自然史 I (2)									

動物自然史Ⅰ(2)

[Evaluation methods and policy]

平常点（授業への参加と参加状況）とレポート試験の結果による。その評価方法や比率などは初回授業にて説明する。

[Textbooks]

Not used

プリントを配布する。カラーサインペンがあるとメモに便利。

[References, etc.]

（References, etc.）

松井正文 『脊椎動物の多様性と系統』（裳華房）

松井正文 『両生類の進化』（東大出版会）

松井正文 『カエルー水辺の隣人』（中公新書）

[Study outside of class (preparation and review)]

授業前には授業内容の動物群や分類群の概要を調べ学習しておき、授業後は授業の要点を整理して復習することが望ましい。

[Other information (office hours, etc.)]

オフィスアワーは設けない。相談や質問がある際には、メールで事前にアポイントをとることが望ましい。